



環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法） "	廃棄時における家電リサイクル券の排出者控えの受領・保管	—	—
家庭用冷蔵庫の廃棄		○		—	×	—	—	—				家電リサイクル券（控）に記載された「お問い合わせ管理表番号」による検索で、メーカーに引き渡されたことを確認	—	—
軽自動車の廃棄		○		—	×	×	—	—				使用済み自動車の再資源化等に関する法律	リサイクル券の保管（自動車保有時）	○
											"	使用済自動車引取証明書の受領・保管	○	—
											"	「自動車リサイクルシステム」のサイトで処理状況を検索し、処理済であることを確認	○	—

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
繁忙期の職員の負担の増加（エコ通勤が困難となる等） CO2発生の抑制による良好な住環境の確保 廃棄物の減量と資源の有効活用 軽自動車のカーエアコンに使用されるフロンガス回収により排出を抑制	自家用車による通勤回数に対するノーマイカー通勤の割合を年間を通して30%以上を目指す		徒歩、自転車、乗り換え、バス、電車相乗り	4月16.94%、5月13.33%、6月17.68%と市民税の繁忙期とはいえ非常に低い達成率となってしまった。7月21.18%、8月16.58%、9月18.82%と低調で、実施対象者の見直しを検討。	×	10月29.52%、11月31.0%、12月36.14%とおおむね目標を達成した。1月31.25%、2月19.08%、3月20.32%と市民税の繁忙期から低い達成率となった。実施可能な時期に集中的に行うことなどを検討する必要がある。	×